

令和元年度

# 山口市青少年交流訪問団訪問記

令和元年7月31日(水)～8月4日(日)

中国・山東省济南市



山口市

# はじめに

---

本市と中国・济南市は1985年9月に友好都市締結を交わし、来年で35周年を迎える。この間、教育をはじめ、文化、経済、環境など、様々な分野において相互交流を進めております。

また、経済のグローバル化の進展する現代社会において、広い視野を持って様々な文化を理解し、尊重すると同時に、多様な言語や慣習を持った世界中の人々と共に生きていく心を育むことが必要とされており、国際性豊かな人材の育成が求められているところです。

こうした中、本市は外国の文化や言語に触れ、国際感覚を養い、グローバル社会で活躍するために必要なことを学ぶことを目的として、近年、济南市との青少年によるホームステイを実施しています。

今回は小中学生7名の訪問団を济南市へ派遣し、「ダンス」をテーマに言葉や文化の違いを超えた国際交流の機会を設けることができました。

この訪問記は、訪問団として参加された子どもたちが目にしたもの、実感したこと、さらには、訪問中の成果などをより多くの市民の皆様にお伝えするために作成したものです。

子どもたちの柔軟な感性で躍動する中国・济南市の「現在の様子」を御覧いただくとともに、学校や地域における国際交流推進の一助となれば幸いでございます。

最後に、本市の訪問を温かく迎えてくださいました济南市外事弁公室、济南市青少年宮の皆様、また、団員を快く送り出してくださいました御家族の皆様、所属する学校の先生方、そして派遣事業にお力添えをいただきました全ての皆様にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

令和元年12月

山口市長 渡辺 純忠



# 目次

はじめに（市長あいさつ）	1
目次	2
日程	3
訪問団団員名簿	4
研修会の日程とそのようす	5
出発のあいさつ	
佐々木大壱 渡邊朋佳	6
酒向利空 佐々木豪生	7
清水咲希 林 愛華	8
三宅天太郎	9
リレー日記	
7月31日（水）佐々木（大）	10
8月1日（木）佐々木（豪）・渡邊	11
8月2日（金）清水・林	12
8月3日（土）三宅	13
8月4日（日）酒向	13
活動のようす	
① 青少年宮にてダンス・書道体験	14
② 城河・黒龍泉・山東博物館見学	15
③ 青少年宮で各種体験	16
④ ダンス交流	17
⑤ 大明湖・趵突泉見学	18
⑥ 曲阜の三孔視察	19
⑦ 山東料理に挑戦	20
⑧ ホストファミリーとの思い出	21
⑨ 济南と団員たち	22
⑩ さあ、山口へ帰ろう	23
訪問レポート	
佐々木大壱	24・25
渡邊 朋佳	26・27
酒向 利空	28・29
佐々木豪生	30・31
清水 咲希	32・33
林 愛華	34・35
三宅天太郎	36・37
団員訪問記	
佐々木大壱	38
渡邊 朋佳	39
酒向 利空	40
佐々木豪生	41
清水 咲希	42
林 愛華	43
三宅天太郎	44
田邊 広（団長）	45
上土 夏希（通訳）	46
河村 学（市国際交流室長）	47
お世話になったみなさん、編集後記	48

# 日程

## 7月31日（水）

新山口駅→博多駅→福岡空港→韓国・仁川経由→济南空港→济南市青少年宮へ  
歓迎式典の後、ホストファミリーと対面  
→ホームステイへ

## 8月1日（木）

【午前】济南市青少年宮で体験学習  
・ヒップホップダンス体験・書道体験  
【午後】山東博物館見学

## 8月2日（金）

【午前】「泉の都」济南の名所見学  
・大明湖・趵突泉（ほうとつせん）  
【午後】济南青少年宮でダンス発表・クライミング・馬術・切り絵体験

## 8月3日（土）

【終日】孔子のふるさと「曲阜」へ  
・孔府・孔廟・孔林見学

## 8月4日（日）

济南駅→新幹線で青島駅へ→青島駅→青島空港  
→韓国・仁川経由→福岡空港→博多駅→新山口駅

おつかれさまでした！

# 訪問団団員名簿

## 子どもたち

佐々木 大壱 (ささき だい)	山口市立大殿中学校 2 年
渡邊 朋佳 (わたなべ ともか)	山口市立大殿小学校 6 年
酒向 利空 (さこう りく)	山口市立湯田小学校 5 年
佐々木 豪生 (ささき ごう)	山口市立大殿小学校 5 年
清水 咲希 (しみず さき)	山口大学附属小学校 5 年
林 愛華 (はやし まなか)	山口市立宮野小学校 5 年
三宅 天太郎 (みやけ てんたろう)	山口市立湯田小学校 5 年

## 職隨行員

田邊 広	山口市立小郡小学校校長
上土 夏希	山口市国際交流課 (通訳)
河村 学	山口市国際交流課 室長

## 山口市青少年交流訪問団 出発式



令和 1 年 7 月 22 日 (月) 出発式 (山口市役所山口総合支所)

## 研修会の日程とそのようす

### 第1回研修会 6月14日(金) 18:00~19:30

場所：山口総合支所 第11会議室（3階）

自己紹介、リーダー選出

日程や旅行についての説明

持ち物などの注意点

健康調査（山口市健康増進課 飯室・福田保健師）

写真撮影・目標設定シート記入



### 第2回研修会 6月22日(土) 9:00~12:00

場所：湯田地域交流センター

中国についてのお話（山口県国際交流員 楊 茜（よう すい）さん）

・中国山東省の名所・名物・中国で有名な日本のことについて

・泉の都 济南市・中国の生活・習慣

・簡単な中国語会話

济南市のようすについて

（山口市職員 丸本 華代さん）

ホームステイのための研修

（山口県国際交流協会 岡崎 のぞみさん）



### 第3回研修会 7月7日(日)

12:30~15:30

場所：山口市民会館 練習室

ダンス練習

ダンス交流で発表するダンスの練習

### 第4回研修会 7月20日(日)

9:00~12:00

場所：山口市民会館 練習室

ダンス練習

ダンス交流で発表するダンスの最終練習

### 第5回研修会及び出発式 7月22日(月) 18:00~20:00

場所：山口総合支所 第2委員会室（3階）

出発式

・自己紹介

・ジュニアリーダーあいさつ

・サブジュニアリーダー決意表明

出発前の最終説明

ダンスの披露



### 事後研修会 8月24日(土)

10:00~12:00

場所：大殿地域交流センター

濟南での5日間を振り返って

…訪問記の作成



# 出発のあいさつ



山口市立大殿中学校

2年 佐々木大壹

我是青年领袖佐々木大壹。  
我们非常期待去中国。  
我们想和中国的朋友加深友情。  
我想透过这次访问成为山口市与济南市之间的  
友谊桥梁。 謝謝  
私はジュニアリーダーの佐々木大壹です。  
私たちは中国へ行くのをとても楽しみにし  
ています。  
私たちは中国の友達との友情を深めたいと  
思っています。  
この訪問を通じて、山口市と济南市の友好  
の架け橋になりたいと思っています。  
私は济南市に行くのは3回目です。济南は  
私のことを虜にしました。  
美しい泉、悠久の歴史、大らかな人々、美  
味しい中華料理…。  
私にとって中国は、世界を身近に感じさせ  
てくれます。  
今回はジュニアリーダーとして参加できることを誇りに思い、中国の人々との交流を深  
めるのはもちろんのこと、ダンスを通じて団  
員間の絆も深まるといいなと思っています



山口市立大殿小学校

6年 渡邊 朋佳

今回、私は副リーダーを務めさせていただ  
きます。先日、中国からホームステイに家に  
来た子と、あまりコミュニケーションがとれ  
ませんでした。

なので、積極的に話しかけてホストファミ  
リーの人たちと仲良くなりたいです。

そして、山口に来た子だけでなく、その子  
の家族にも、山口の事を知ってほしいです。

また、今回の交流のテーマはダンスです。  
しっかり練習して、みた人が一緒に踊りた  
くなるような交流にしたいです。



## 山口市立湯田小学校

5年 酒向 利空

ぼくは海外に行くのは、はじめてです。  
中国語は、あまり話せないので不安もありますが、日本と違う文化の中国語を知りたいです。

みんなで練習したダンスもきんちょうせずにおどってきたいです。

中国のファミリーと仲良くなり、家庭料理や、たくさん中国けんぽうなどいろんな事を教えてもらいたいです。

楽しくホストファミリーの子どもと過ごしたいです。

ぼくは山口が大好きなので、山口のみりょくもたくさん中国人に伝えたいです。



## 山口市立大殿小学校

5年 佐々木豪生

ぼくは今、とてもきんちょうしています。  
なぜなら、外国に行くのが初めてだからです。けれども先にホームステイにやってきたヘンルイがまっていると思えばきんちょうが和らぎます。

ヘンルイも日本にくくるときはこんな気持ちだつたんだと思います。

ぼくは中国に行ってチャレンジしたいことが3つあります。

1つ目は中国の食べ物で初めて食べるものを食べてみたいです。

ぼくは食べ物アレルギーで日本でも食べられないものがあります。

中国では、自分でまずアレルギーが入っていないか確にんして、食事を楽しみたいと思います。

2つ目は、中国の歴史を知ることです。济南市は孔子のふるさとだと聞いています。孔子にゆかりのあるところに行ってみたいです。

3つ目は、中国の自然を感じることです。泉などを見たり、济南にいる生き物にはどんな物がいるか知りたいです。

こうやって書いていると行くのが楽しみになります。



## 山口大学附属小学校

5年 清水 咲希

私は中国へ行くのを、とても楽しみにしています。

なぜなら中国語に関わってみたいし、あとイーチェンちゃんと仲良くしたいからです。今、私とイーチェンちゃんはウィーチャットで連らくしています。

もちろん中国語なんてほとんど読めないし話せないので、英語やほんやくアプリを使って話しています。

でも一緒に（少しだけど）すごせば、互いのことが少しでも分かる気がするからです。

もう1つの中国語の発音は、とてもむずかしいと聞いたことがありますし、発音をまちがえると相手に伝わない事もあるそうです。だから、中国に行ったら、中国語を聞いてみたいし、読んでみたいし、少しだけ話してみたいです。

日本人の代表として、中国に行けることを誇りに思っています。



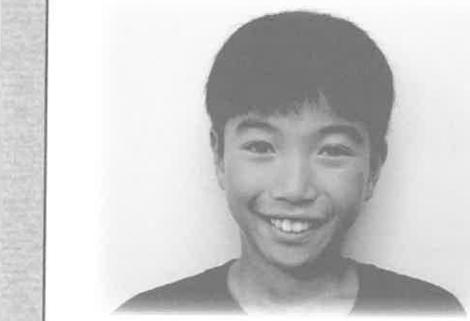
## 山口市立宮野小学校

5年 林 愛華

わたしの家では、ホームステイの受け入れをしています。フィリピンの方や、中国の方に日本の生活を体験してもらいました。昨年の夏は、济南市から、小学5年生の女の子がやってきました。中国語で会話することができなくても、海に行ったり、お買い物をしたり、家でゆっくりしたりすることで、仲良くなって、楽しく時間をすごすことができました。

ことしは、母のすすめで中国に行くことになりました。ホームステイの間に、中国の文化にふれ合い、日本とちがう所を見つけたりしたいです。ホームステイやダンスで济南市の方と仲良くなり、日本のことを使ってもらいたいと思います。

日本に帰ったあとは济南市のことを家族や友達にしゃうかいし、たくさんの人々に知つてもらいたいと思います。思い出深い5日間になるようにしっかり準備をしておきたいと思います。



山口市立湯田小学校

5年 三宅天太郎

ぼくは、中国や外国に行くのは、初めてです。だけど、すごく楽しみです。

ぼくの目標は、ホストファミリーの人たちと仲良くして、たくさん思い出を作ることです。

今回のテーマは“ダンス”なので、小さいころから習っているダンスを活かし、言葉だけでなく、言葉以外の方法のダンスで伝え合いたいと思います。

僕は次济南市に行く人たちが気持ちよく行けるようにいい態度で、すごそうと思います。

そのために、ふだんから、いろいろな所の場のマナーやルールを守って生活しようと思っています。

ぼくは山口市代表ということなので、おぎょうぎよく、ホストファミリーの人たちにめいわくをかけないように、济南市でごしたいと思います。

## リレー日記

7月31日水曜日のこと

佐々木 大壱

行きの福岡ー仁川での手荷物のトラブルで、荷物が翌日に遅れて届くことになりましたが、無事济南に「戻って」来られたので良かったです。

今回はホストファミリーの家に、弟と一緒に滞在するので少し緊張していましたが、そんな僕を济南は再び迎え入れてくれました。ホストファミリーの家に着くと、すぐにお母さんに食べ物をすすめられて、またさらに中国人の大らかさを感じました。入浴時にシャンプーがどれか分からず、洗顔料とリンスらしきものを混ぜて使うと髪がパサパサになってしまいました。今、考えると、僕は中国に行くうちに自分自身が大らかに、丸くなってきたような気がします。今回も自分を変えてくれるような何かを、この国にいるうちに追い求めたいと思った3度目の中国の初日でした。



# リレー日記

8月1日木曜日のこと

佐々木 豪生

今日は、荷物が届くのが遅れてダンス発表が1日ずれました。そのせいで文章を先に考えていたのに水のあわになりました。書道の交流では、書き方が5つあり、全て教えてもらいました。少しうまくできないところもあったけど、まあまあ上手く出来たと思います。中国の字と日本の字には、ちがいが多いことが分かりました。日本でもこの5つの書き方は、大人でも知らない人が多いと思います。

山東省博物館では、2つのことを学びました。1つは山東省の歴史で、中国は古くから仏教があり日本より文明が進歩していたということが分かりました。

2つ目は、生物で日本にはいないような生物がいて、日本にもこんな生き物がいたらいいのにと思ったこともありましたが、さすがに外来生物なので、日本にいたら危険だと思いました。また中国の地に行けることを願っています。

8月1日木曜日のこと

渡邊 朋佳

今日は書道体験と山東省博物館見学をしました。書道体験では、「和」という漢字を5つの書体で書きました。1つ目は、成り立ちのような字で、5つ目は全てつなげてみて書きました。筆の持ち方や、書体が日本とはちがって、少し難しかったけど、楽しかったです。

山東省博物館では、とてもリアルに動物の暮らしが再現されていたり、長い歴史を物語る物がたくさん展示されていました。動物は今にも動き出しそうで、上には「紅の豚」に出てきそうな飛行機が飛んでいて、おもしろかったです。歴史が感じられる物の中には、縄文時代くらいに作られていて、でもとても細かくて、すごかったです。

ずいぶんはなれないと写真がとれないほど建物自体も大きかったです。

とても楽しくて最高の1になりました。



## リレー日記

8月2日金曜日のこと

清水 咲希

今日は大明湖（だいめいこ）と趵突泉（ほうとつせん）に行きました。大明湖には、とても大きな建物が浮かんでいて、とてもきれいでした。

大明湖では船にのり、風が開けた窓から入ってくるので、とてもすずしかったです。

午後は青少年宮にもどり、ダンスの発表がありました。うまくおどれていたかは分からなければ、おどっている時に急に音楽が止まって、「え？！」とパニックになるというハプニングもありました。

今日もいろいろあったけど、楽しかったです。



8月2日金曜日のこと

林 愛華

午前中は大明湖と趵突泉の見学に行きました。大明湖では、とてもきれいなのはすの花を見ました。趵突泉は水がきれいで、飲むことができる水もありました。みんなでお昼ご飯を食べました。中国で、はじめて見た食べ物もありました。ちょうどせんして、食べてみると思ったよりもおいしいものもありました。午後からは、乗馬体験、ロッククライミング、紙きりをしました。乗馬体験では、気持ちよく馬に乗りました。ロッククライミングでは、少しつかれましたが、上手に登れてうれしかったです。紙きりをしました。紙きりでは、大明湖で見たようにきれいなはすと木を切りました。最後に、先生に教えてもらって、自分でりんごを書いて、切りました。3つ上手に切ることができて良かったです。

2つの観光と3つの体験ができる、本当に良かったです。

# リレー日記

8月3日土曜日のこと

三宅 天太郎

今日は孔子の生まれた曲阜という所に行きました。そこには、孔子のおはかもありました。見学するために、バスで孔子のおはかのあたりを1周しました。記念物があるところから馬車で行きました。そこにはたくさんの中門があり、それぞれちがう漢字が書いてありました。

済南市に戻って、夜はホストファミリーのヤン・ハオナンとその家族、いとこ、おじいちゃん、おばあちゃん達とボクシングやトランプなどを楽しく遊びました。

8月4日日曜日のこと

酒向 利空

ホームステイ最後の日なので、僕は別れが辛く、徹夜でホストファミリー全員1人ずつに手紙を書きました。別れが辛くて言葉が出ませんでした。日本に帰らないといけないので、涙が出そうでしたが、将来会うと決めて泣くのをがまんしました。

帰りは、済南空港から仁川空港の飛行機が満席のため、青島まで新幹線に乗りました。日本と違い、新幹線ではおかしがもらえました。2回新幹線と2回飛行機に乗りましたが、飛行機にはゲームがあったのでたくさんつせずに夜中に山口に着きました。家族が駅に迎えに来ました。久しぶりに家族に会うのがうれしかったです。



## ①青少年宮にてダンス・書道体験



準備体操は念入りに！



いててててててて



いろいろな書体で和という字を書きました



初めてのヒップホップのレッスンお疲れ様でした！



全員とても真剣な様子…



筆の持ち方も日本とちがいました



自信作と記念写真

## ②城河・黒龍泉・山東博物館見学



お城を囲む川には大きな柳の木がたくさん



黒龍泉では、地元の人があ水を汲んでいました

山東博物館へゴー！



今まで見たどの博物館より大きい！

広くて大きなエントランス。大階段も豪華でした！



アフリカ動物エリアと山東省遺跡エリアを見学しました

### ③青少年宮で各種体験



横歩きしながらのボルダリング♪  
みんな余裕です



縦登りもすいすい！



先生にていねいに教えてもらいました

#### ■乗馬体験



おとなしくてかわいいお馬さん



#### ■切り絵体験



中国伝統の切り絵体験

お花・動物・あ面など必ずかしい  
切り絵にもチャレンジ！

とっても楽しかったです

乗せてくれた馬と全員で記念撮影



かわいく出来上がりました



## ④ダンス交流

■＼大歓声をいただきました／



中国語で挨拶をしました



ドッジボールを紹介しました



たくさん練習したダンスを元気いっぱいにひろう

## ⑤大明湖・趵突泉見学



大きな大明湖

大明湖は広いので、移動は船に乗りました



蓮の花と茎のてんぷら 甘い砂糖  
がまぶしてありました



## ⑥曲阜の三孔視察



900年前の石を触ってみたよ



孔子のお墓をめぐり、学問のお願いをしました



馬車に乗って移動しました



孔廟（孔子の生家）はとても広くて大きかったです



皇帝式典のパフォーマンスを見ました

## ⑦山東料理に挑戦



毎日ごちそうがテーブルいっぱいに



はじめて食べる山東料理に  
チャレンジしました



人気1位：えびのから揚げ  
人気2位：とりのから揚げ  
人気3位：いも団子



## ⑧ホストファミリーとの思い出



中国の遊び「タカとヒヨコ」をしました

あばあちゃんと手を繋いで



ホストファミリーのお父さん、  
イーノオちゃんありがとう

バイバイしたくなくて、  
悲しいお顔…

最後のお別れ



ホストファミリーの  
イーチェンと民俗衣  
装を着て記念撮影



ホストファミリーのみなさん謝謝！

## ⑨濟南と団員たち



バスの中でも全員  
仲良くあしゃべり



歓迎式典記念撮影



济南で一番高いビル  
「济南緑地センター  
(303m)」夜はライ  
トアップがきれい



济南は柳の木がたくさんでした



超高層ビルがたくさん  
立ち並ぶ大都会



泉のまち



初めて蓮の花と茎のてんぷらをたべました

## ⑩さあ、山口へ帰ろう



中国の新幹線♪快適でした



飛行機の中では、みんなでゲームやアニメを見て楽しみました



窓からのきれいな景色を写真に撮りました♪



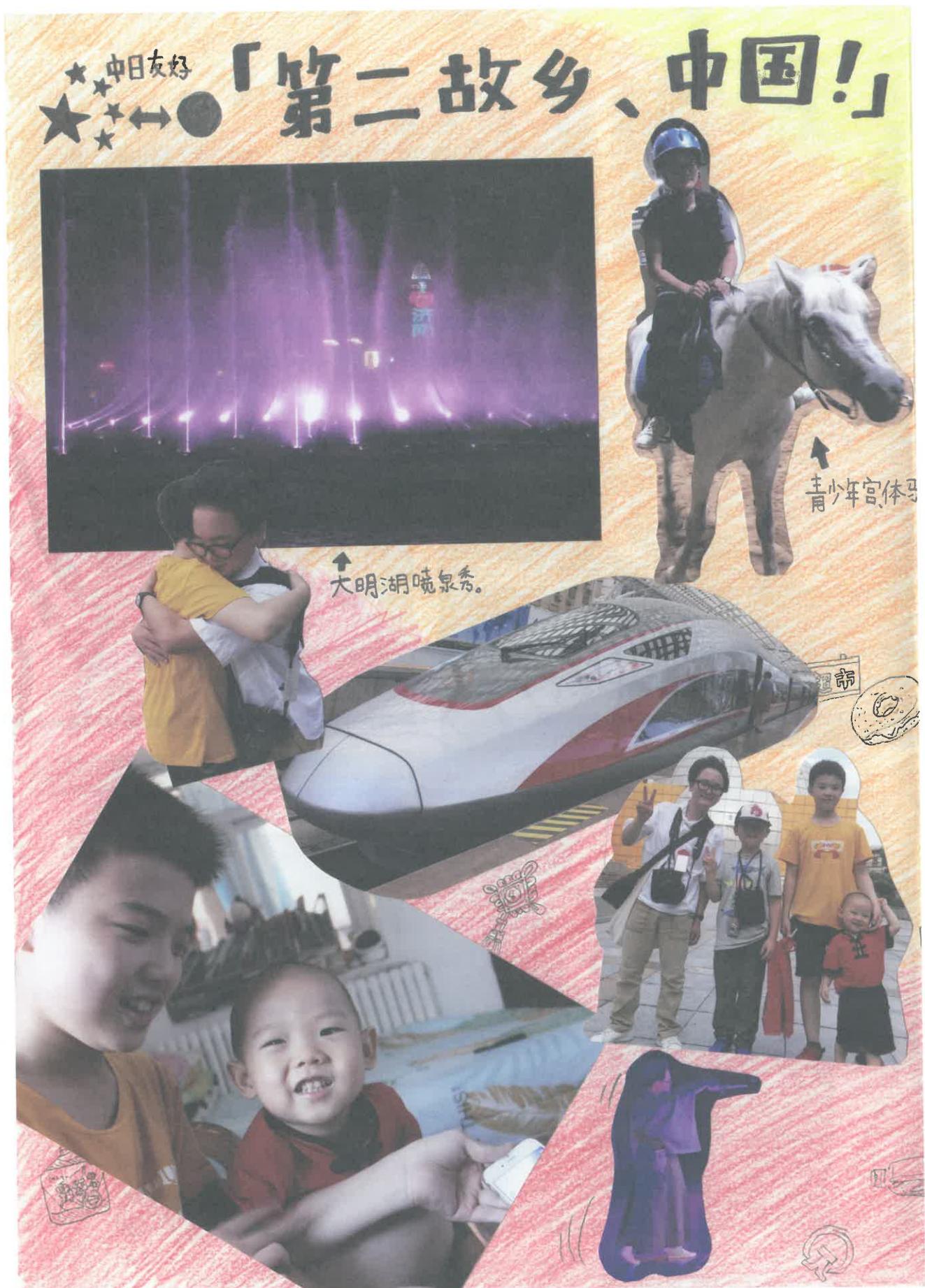
中国の青島駅！大きくてびっくり



家族やお友達にもお土産を買いました

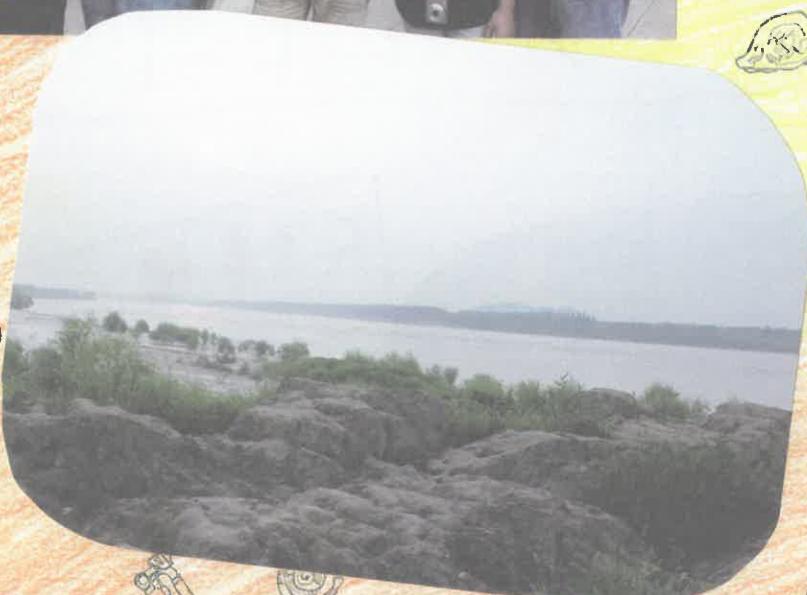


お父さんお母さんありがとう！無事に帰って来ました





金骑马。



实在感谢!!

谢谢你给我留下美好的回忆!

お世話になった青少年の方々、济南市役所の職員の方々にはご迷惑をおかけした事もありません。本当に感謝をうございました。

そしてなにより僕等は家庭の人として迎えてくれたホストファミリーのお父さんとお母さん。感謝の気持ちついにはいいです。またどこかでお会いしまじゅう。

我对寄宿家庭的父母和妈妈非常感谢。再见。

黄河的河岸处。

这五天是和寄宿家庭有  
很多的回忆。  
什么时候，在济南或者这个  
山口市见吧。



-佐佐木 大壹-

# 中国での 思い出つまつた 5 日間



とても優しくしてくくれました。  
琴がとても上手でした。  
5歳の妹ちゃん

济南でお世話になった  
ホストファミリーの方、  
たくさんのお出を  
作ってくれました。

はしは  
お皿の上に  
おきます。

## 1日目の 晩ご飯



いっしょに水ギョーザを作りました。包んでひたすらつくるのが難しかったです。とてもおいしかったです。





アーラー  
かっこいい



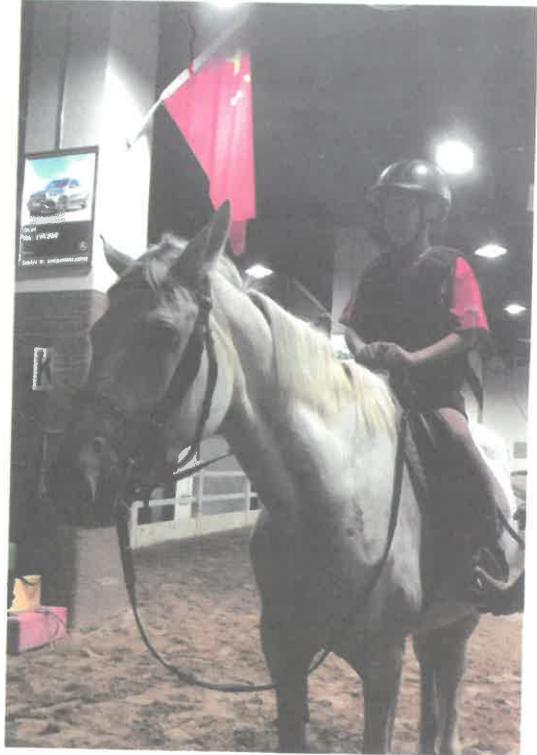
中国で活

おり  
女子



羽白を羽白しました。





をみた!!

いってよ。

吃 吸 可

↓



# ホームステイの思い出！初中

佐々木豪生

黄河にさへ土はすべて流れ  
さめた牛



岸には、ボールベン、コモ  
けふらし大川だ  
全ぜかわあついていた



水餃子作り！

ホームステイ先のお母さん  
が水餃子の作り方を  
教えてくれた。ぎょうざを作った  
ことがないから人生初の体験全てい。

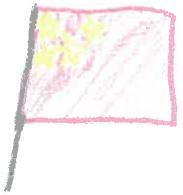


完成した水餃子！

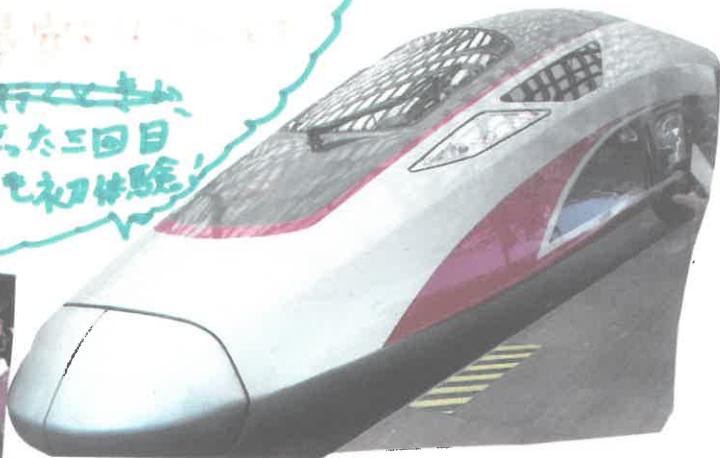
作りすぎて食ってられませんでした。  
人生で初めて中国でぎょうざを作  
りました。



国 !!!



中国新幹線  
青島中日韓三国  
ド東、た三回日  
の兄も初体験



馬車に乗った  
馬はあせらしく  
全身びよきねた  
だ、た  
この馬は馬の時  
に乗った馬といい  
ねづかず大きいた  
ひづか

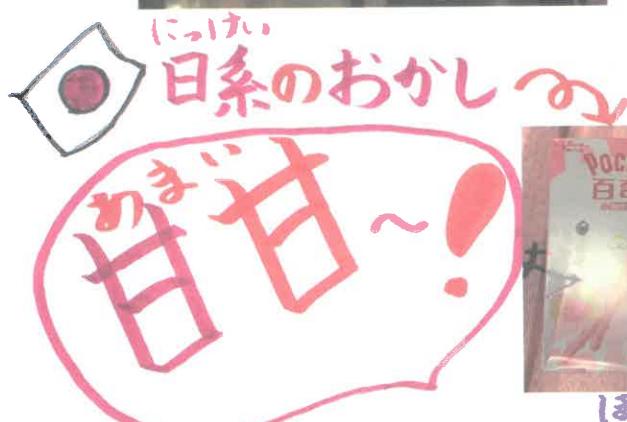


# 謝謝！中國



きなん  
濟南のシンボル♪

おおき  
大！



にっこり  
日系のおかし〜

かま～甘～！



ほうこつせん  
趵突泉の東屋！

わざまや  
きれい～  
漂亮～！

中国流のおなべえ  
放吃!



中国的飲み物

(右: フェタをスプライト)  
スプライト  
雪碧  
芬达

很有趣，谢谢！



山口市青少年交流団団員

# 謝謝中國



謝謝  
濟南



济南市  
青少年宮

中国で有名な歌を  
歌ってくれました😊  
济南市青少年宮→  
のマーク



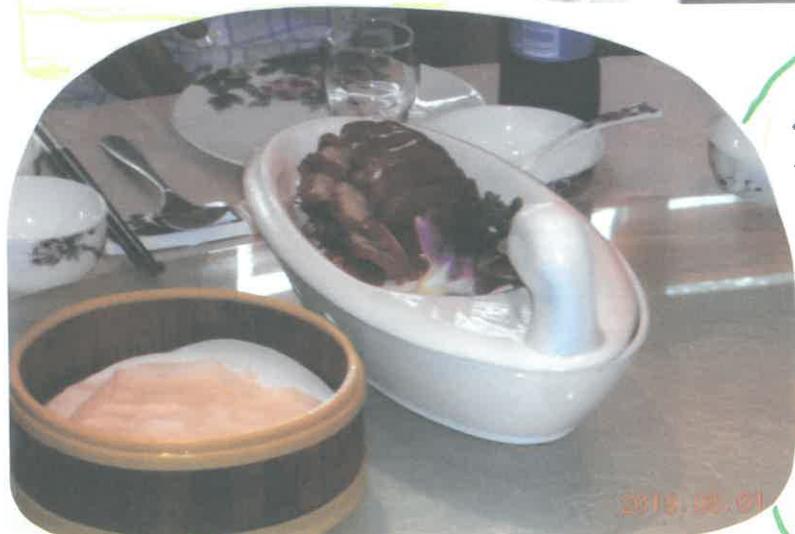
リュウ イオーさんの  
お部屋

とても気持ちの  
良いベット!

とても親切な  
ファミリーでした!



2019.08.01



2019.08.01

ペキンダック  
かわにアヒルのお肉を  
入れてソースをかけて  
食べる!!

他にもいろいろな  
食べ物がありました。  
日本にある  
ポテトやケーキもありました。

趵突泉で  
家族写真

とっても良い  
アミリーでした。

また会えたら  
うれしいな♡

あ、という間の5日間  
でした！)



高兴 (うれしい)



2日目の  
朝ごはん  
うどんとたまご  
あげパン…。  
全部おいしい♪

好吃

3日目の大明湖  
はすの花がとても  
きれい♡  
舟に乘たりしたヨ!!  
本当にありがとう。  
謝謝



謝謝 济南 ❤



I ❤ LOVE 济南 広場での



ホストファミリーの  
みんなが  
温かく  
受け入れ  
てくれた!!



いいいい

謝  
ざ  
い

中国



乗馬

きちう休釣

いいよ!!



# 団員訪問記

## ★第二故乡、中国

山口市立大殿中学校2年 佐々木 大壱

结束了这个访问之后，想在济南生活。

这次是我第三次参加济南欢迎访问团，感受到了那份温暖与欢迎的心意。在济南的回忆是我一生的宝物。

这次作为访问团的少年领导去到中国，交流访问团的活动是我在济南的回忆。另外，在青少年宫的欢迎仪式上，还能够享受中国传统歌曲和美妙乐器的演奏。回国之后，感觉自己变得大方豁达，这五天的济南生活，使我的心变得更强大。我很喜欢中国这个国家，也觉得被中国喜爱，而且，我认为即使和寄宿家庭之间语言不通，也稍微知道一些他们所说的话，也许心里的某处是连着的。

因为这次的访问，变得更加喜欢济南了。我真的很喜欢济南的街道。虽然是最后一次，但是非常感谢济南市政府、青少年宫以及导游们。

最重要的是，寄宿家庭的妈妈、爸爸、恒瑞、弟弟接受我成为他们家人的一员，真的很感谢。

希望某个时候，可以在济南或是山口市见面！

再见。

谢谢。



今回の訪問を終えて、僕は将来、济南で生活したくなりました。僕は中国（济南）に来たのは3回目でしたが、中国という国はいつ行っても僕のことを温かく迎えてくれる気がします。それに、中国に行くと、自分が大らかになっていることに気がつきます。中国の人々の大らかさや寛容さに、気づかない内に影響を受けているのでしょうか。

僕は中国の良いところも悪いところもある意味好きです。中国の人々の優しさには、我々日本人が気づかされるところがあります。

向こうが優しくしてくれるのなら、こちらも優しくしてあげないといけないと思いました。お互いの国同士の温かい気持ちが地図上の「国境」を無くし、信頼関係を築けられると僕は思っています。

しかし、今のこの日本には先述した、「信頼関係」が不足してきています。今回、なぜ自分達のような若い人材が国際交流をしているのかを心の中でじっくり考えました。その答えは、これから世界を変えていくような人材に成り得る自分達が、広い世界を知っておかなくてはならないからです。これからは、中国のみならず、様々な国々と国境を越えて交流し合う関係を築き上げるには、今、自分はどうするべきか、と常に考え行動したいです。



## ★驚きばかりの5日間

山口市立大殿小学校6年 渡邊 朋佳

私は今回、初めてあまり親しみのない人と海外に行くということで、楽しみなこともありますが、不安なこともたくさんありました。

一番不安だったのが、ホームステイです。言葉が通じない上にどんな人かも分からぬからです。しかし、ホストファミリーの方はそんな私を温かく迎えてくれました。お父さんとお母さん、馬慧錦（マ・ファイジン）ちゃん、5歳の妹ちゃんの四人家族でした。最初の夜は、おばあちゃんもいて、みんなで一緒に水ギョーザを作りました。皮まで全て手作りだったので、驚きました。具を包むとき、具がはみ出てしまったり、ひだがぐちゃぐちゃになったりしてしまったけど、「上手」と言ってもらえて嬉しかったです。手作りの水ギョーザは、とてもおいしかったです。この水ギョーザ作りで、緊張が少しほぐれました。最初ははずかしがっていた妹ちゃんも、積極的に話しかけてくれて、何を言っているか分からなかつたけれど、楽しかったです。言葉は分からなくても、気持ちは伝わるのだなと思いました。

いろいろな面で日本と中国の文化の違いを感じたこの5日間ですが、特に食文化に違いを感じました。それは、遠慮しないで食べなさい、とお皿にどんどんおかずを盛ってくれることです。うれしいけれど、マナーの違いに驚きました。また、油っこい物がとても多かったことにも驚きました。中国人は油っこい物が大好きなのかなと思いました。その他にも、日本人の私から見ると変でも、中国では当たり前のことがありました。具体的には、はしの持ち方や形、お皿を持って食べないということなどです。

街の様子にも、驚いたことがあります。高層ビルやマンションが立ち並び、バイク、自転車も専用の道があるほど多かったです。济南はすごい都会で、人がとてもたくさんいました。山口は田舎なので、全然違うなと思いました。

様々な驚きがありましたが、一番驚いたことは、トイレです。トイレットペーパーを流してはいけないことは知っていましたが、街中に、驚がくのトイレがありました。そのトイレは、ドアがなく、横のかべも低いのです。さらに、下ではずっと水が流れていきました。

日本では決して体験できないことだと思いました。

最後に、今回の济南訪問で私は、言葉や文化が違っていても、仲良くなることができるということを学びました。貴重な体験や学びを今後の生活に生かしていくらと思います。



# 団員訪問記

## ★中国の家族ができました

山口市立湯田小学校5年 酒向 利空

7月に中国から青少年訪問団が先に日本にきました。僕の家に1人の5年生の男の子がホームステイにきました。僕は、大親友になりました。僕は彼のいる中国に行くのが楽しみで前日は眠れませんでした。济南市青少年宮に到着し、バスから降りると遠くから走って僕の名前を呼びながらホストファミリーがきました。とてもうれしかったです。

济南市の人達もステージを用意してくださいました。ステージが終わると、ラーメンを食べに行きました。食べきれないほどの料理が並び歓迎してくださいました。スーツケースは届かなかったので、スーパーマーケットに買い物に行きました。広くて迷子になる人も多いそうです。僕の一番びっくりしたことは、中国ではお財布を使いません。ケイタイ電話の中にお金が入っていて、ケイタイで買い物をします。現金のみの場所よりもケイタイ払いができる場所の方が信用できるとホストファミリーは言っていました。ホストファミリーは携帯電話しか持たずに外出しますが、どこでもケイタイで払っていました。

家に帰ってからも毎晩おそらくまでホストファミリーのこどもたちと遊びました。次の朝には、ホストファミリーが食べきれないほどの手作り餃子、冷麺など作ってくださいました。青少年宮まで送つてもらいダンスを習い、中国の習字を書きました。日本の習字と持ち方が違い、戸惑いましたが、たくさん字を書きました。みんなと机が回転する料理も食べました。文化が違うので、残したら捨てられると聞いてがんばってたくさん食べました。山東省博物館はリアルな動物がたくさんいて目の前で写真が撮れました。スーツケースが無事につき安心して青少年宮に着くと、ホストファミリーの弟が笑顔で立っていて、迎えに来ていました。カレーを食べに行きました。カレーのルウは汁で、ご飯に汁をかけて食べました。ホストファミリーの従兄妹の家にも行き、ボクシング体験をして、みんなで寝ました。

3日目はダンスとドッジボールをステージでひろうしました。人が足りなかつたので、みんなが助つ人で入りました。僕は、ドッジボール部なので、球を早く投げたら会場がわきました。エースになったみたいでうれしかったです。ロッククライミングと乗馬体験した後、ホストファミリーの家族のところに行きました。毎晩いろいろな場所に連れて行ってくれました。しゃぶしゃぶを食べて、中国の伝統芸能「変顔（ビエンリエン）」を見ました。青→赤→白と扇子で顔が変わるので不思議でした。

4日目は曲阜で市内観光し最後の夜を過ごしました。ホストファミリーは、僕を日本の家族だと言ってくれました。中国には、「起脚餃子・落脚面」ということわざがあるそうです。僕が来た日にラーメンを食べさせて、帰る日に餃子を食べさせ道中の無事を祈るそうです。ホストファミリーの家族は冬休みに僕の家に遊びに来ると約束して帰国しました。僕もまた济南市に遊びに行きたいです。



## ★ホームステイの思い出

山口市立大殿小学校5年 佐々木 豪生

ぼくは山口市青少年交流訪問団に初めて参加しました。参加しようと思ったきっかけは兄がこの訪問団に参加していたことがあり、とても楽しそうだったからです。それでぼくは中国の歴史や自然にとてもきょう味があります。中国の歴史の本を読んだり、中国にすむめずらしい魚を調べていたりしたので、中国に行って実際に見たり聞いたりしてみたいと思いました。

でも、申しこみをしたあとに、不安な気持ちになってしまいました。中国の友達と仲良くなれるか、中国語がうまくできるか、パスポートをなくさないかなどです。1番不安だったことは、食物アレルギーのことです。現地でアレルギーだと自分で伝えられるか、間違って食べてしまつてかゆくなつたらどうしようなどと不安に思っていました。

研修が始まって、中国のことを知ったり、アレルギーの事を表示できる紙を用意したり、ダンス交流で仲間と打ち解けるうちにだんだん不安はなくなっていました。旅行の荷物を準備するころには、とてもワクワクして早く中国に行きたいと思っていました。

朝早く新幹線に乗って家ぞくとはなれ中国にむかいました。福岡空こうから仁川空こうのフライトがおくれて乗りつぎで空こうをみんなで大急ぎで走りました。僕は移動する車に乗せてもらったのは思い出です。仁川についたときには荷物が着いていないアクシデントがありましたが、ぼくたちは無事に中国に着くことができました。

ホームステイ先は7月に受け入れていたヘンルイの家です。ぼくが中国に行く不安がなくなったのはヘンルイのおかげであります。ヘンルイはやさしくて、かしこくて、ゆうきのある2人目のお兄ちゃんです。ヘンルイの家族もぼくのことを温かくむかえてくれました。ヘンルイには小さな弟がいてすぐにぼくになつてくれてその子とも楽しくあそびました。家では水ぎょうざを作ったり、コーラが好きだと言つたらタンクぐらいの大きさのコーラを買ってくれたりしました。ふん水ショーも夜につれて行ってもらいました。一番心に残つたことは、大明湖で見た美しい自

然です。見たことのある中国の絵画のような物でした。カエルなどの中国の生き物を発見して魚もはねていました。中国にどんな生き物や魚がいるのかもっと知りたいと思ったので、これからも、日本だけでなく世界の生き物の事も調べていきたいと思います。

ぼくは、この訪問団に参加して本当に良かったです。自分から話しかけたりするのは今でも少し苦手ですが、自分に自信がついて、せっつきよく的になることができました。自分の事を口に出したり表現したりする事はとても大事なことです。中国をきっかけに自分の世界をもっと広げていきたいです。



# 団員訪問記

## ★中国で困ったこと、日本とちがうこと

山口大学附属小学校5年 清水 咲希

中国はとても楽しかったし、おもしろかったです。

でも、中国では少しこまつた事がありました。それは言語についてです。

かんたんな言葉は習っていったけど、やっぱり何を言っているのかさっぱり分からなくて、とても困りました。

すごかったことは、乗り物についてです。ホームステイをさせてもらった女の子の家で乗せてもらいましたが、体を前に倒すと前、後ろに倒すと後ろに進みます。足にはさんだバーを左右に動かしてすすむコンパクトな乗り物です。日本にはないので、とても面白かったです。

2つ目はとても建物が大きいことです。中国のまちなみは日本とちがって、高いビルが多く連なっていて、場所によってはビルの奥が見えませんでした。

山東省の博物館は山口とちがってとっても大きくて、3、4階くらいありました。日本語の音声ガイドもあって、分かりやすかったです。

山東省博物館だけではなく、青少年宮もすごく大きくて山口の物とは比べ物にならなかったです。中国は、国土が大きいので建物や人口もすごく多くて、中国ってすごいなと思いました。

3つ目は中国ばんの食べ物や飲み物があったことです。写真はペットボトルのスプライトとファンタのオレンジです。この他にも、ペットボトルやカンのコーラもあったりして、飲み物はおいしいし、食べ物もおいしかったです。

中国はとても楽しかったし、中国人の方や、ホームステイ先のご家族もとても優しく接してくださいってとてもうれしかったです。

今度、また中国に行ってみたいと思うと同時に、いつか中国の方と会ったり、ホームステイした方が日本に来られたら、私も同じようにやさしくしたいなと思いました。



## ★中国での大切な思い出

山口市立宮野小学校5年 林 愛華

私は、初めて中国に行きました。中国へ行く前の新山口駅に、私の学校の校長先生がお見送りに来てくれました。とてもうれしかったです。そして、私たちの大切な思い出がはじまりました。新幹線に乗って、博多駅に行きました。そして、タクシーに乗って、福岡空港へ。荷物検査などをすませました。飛行機に乗って、韓国の仁川まで、仁川から、濟南空港まで行って、濟南市青少年宮へ。ホストファミリーの方と対面し、その後、ホームステイへ行きました。デパートの中にある、バイキングに行きました。日本にもある、ポテトやミニケーキもあったけど、日本にはない食べ物もありました。2日目は、書道教室をしました。いろいろな種類の「和」を書きました。とても難しい「和」もあれば、そんなにむずかしくない「和」もありました。昔の「和」や、今の「和」。全部で5種類の「和」を何回も書きました。一番かんたんだったのは、今の「和」。一番難しかった草書の和も、先生と一緒に書いて、上手になりました。そして、山東博物館では、動物が本物のように、色や毛、目が作られていてびっくりしました。3日目の午前中は大明湖とほう突泉を観光。

大明湖観光でははすの花がとてもきれいでした。ほう突泉では、とてもきれいな水があり、飲むことができる水もありました。みんなでお昼ご飯を食べて、乗馬体験をしました。馬はとても良い馬で乗っている時は、すごく気持ちが良かったです。ロッククライミングでは、少しつかれたけど、上手に登れてよかったです。ロッククライミングのあとは、紙きりをしました。私は、大明湖で見たようなきれいなはすの花と木を切りました。先生に教えてもらって、りんごの切り絵を作つて切りました。3つともとても上手に切れました。最後にみんなで記念写真を撮りました。その後、ホストファミリーの方と外食へ行きました。この日は、日本でいうレストランのようなところでした。オレンジジュースや焼きとうもろこしなどを食べました。とてもおいしかったです。4日目は、曲阜で市内観光しました。その後は孔子を見学し、孔子のおはかを見学しました。バスでの移動時間が長く、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

ホームステイでホストファミリーの方の家で水ぎょうざを作りました。たくさんのがぎょうざを食べた後、スーパーに行っておみやげを買いました。ホストファミリーの方は、本当の家族のように接してくれてうれしかったです。家もきれいで、ごはんもおなかいっぱい食べさせてくれて、本当に良かったです。5日目は無事新山口駅に帰ることができました。1番楽しかったことは、ホームステイです。



# 団員訪問記

## ★中国での思い出

山口市立湯田小学校5年 三宅 天太郎

いつもだったら長く感じる5日間。だけど、中国の5日間はすごく短かった。いろいろなことをしたし、いろいろなことを見学した。中国ならではのものもあった。いっぱい学べた。

一日目はホストファミリーのみんなでラーメンを食べに行き、その後に大きな広場で買い物をしに行きました。ショッピングモールに入る前はまだ外は明るかったけれど、出たら真っ暗になっていて、よくよく見てみると、ふん水のショーをやっていました。そのふん水ショーは赤や黄・青むらさきといろいろな色に変わりすごくきれいでした。それを見てぼくは、日本にもこんなショーがあればいいのにと思いました。

二日目は、習字体験と、大明湖と山東省博物館に行きました。習字体験は、中国どくとくの習字でした。日本とは、筆の持ち方もちがうし、止めはねをしていませんでした。大明湖では、すごく大きな湖がありました。あと、あちらこちらにたてものがありました。一つだけお城みたいなものがあって、昔は湖がおほりだったそうです。そして山東博物館では、動物のてんじ物・中国の歴史について分かりました。

その日はホストファミリーの人たちと一緒に趵突泉（ほうとつせん）に行ってごはんは中国のカレーを食べました。また、いとこの子の家でいっぱい遊びました。

三日目は、朝ごはんがとてもおいしかったです。そして趵突泉に行きました。趵突泉には、お金が入っていて投げて入れている人もいました。魚もすんでいました。趵突泉も大明湖と同じように小さいたてものがありました。

その日は乗馬をしたり、紙切り、クライミングもしました。クライミングは足をよこにして動くのがむずかしかったです。乗馬ではコツをつかめました。紙切りでは、中国のお面を作りました。思ったよりむずかしかったです。

四日目は孔子のことが分かるところに行きました。そのと中で、馬車にのりました。孔子のおはかにも行きました。その日の夜、ホストファミリーのみんなが日本で言うしゃぶしゃぶにつれて行ってくれました。その後デパートの前で光るおもちゃを買ってもらい、ホストファミリーのみんなで飛ばしました。

5日目はいよいよお別れでした。なみだが出そうでしたが、ヤン・ハオナンの弟は泣いていました。ぼくはヤン・ハオナンにまた会いに行く。



---

## ★交流の歴史があつて今がある

山口市立小郡小学校 校長 田邊 広

「山東省からの青少年交流訪問団の学校訪問を7月11日に小郡小学校で受け入れてもらえたか。」という学校教育課からの一本の電話が始まりだった。今年のテーマが「ダンス」ということで、春に運動会を開催した学校に受け入れてほしいとのこと。予定外の学校行事は、教職員や児童の負担を増やすことになるが、日頃から本校の児童に様々な体験をさせたいと考えていたこともあり、受け入れることにした。教職員に丁寧に説明し、運営委員会の児童にも協力してもらいつながら受け入れ準備を進め、当日は、何とか楽しく交流をすることができた。本校の児童にとっても、貴重な国際交流の機会となつた。そして、その縁があつて、今度は山口市の児童生徒を引率して济南市へ行くことになったのである。

山東省济南市との青少年交流事業は、今年で8回目になると聞いたが、自分にとっては、初めての中国、そして、他校の児童生徒7名の引率ということで、最大の目標は「全員無事に連れて帰ること」であった。実際に引率して行ってみると、青少年宮の方々が、細やかに配慮してくれると、山口市国際交流課の2人の優秀な職員が児童生徒の世話を適切にしてくれるので、任せておけば安心であった。ただ一つだけ神経を使ったのは、道路を歩く時である。中国の交通事情は、日本とはかなり違っていて、交差点では常にクラクションが鳴り響いており、青信号で横断歩道を渡っていてもお構いなしに車やバイクが進入てくる。児童生徒との接触事故だけは絶対に起こさせたくないと思い、のんきに歩いている児童生徒に対して、厳しく注意を促すこととなつた。

この交流事業で、児童生徒にとって一番心に残るのは、間違いなくホストファミリーとの交流である。どのホストファミリーも、本当によくしてくださいました。事前に山口市を訪問した児童の家がホストファミリーになっているので、山口市でお世話になった恩返しをしたいという気持ちも感じられた。本市の児童生徒にとっても、济南の児童と事前に山口で交流していたことが、大きな安心につながったことは間違いない。

私たち大人も、日替わりで、青少年宮や外事弁公室の様々な方々と食事を共にしたが、いつも、きめ細やかな心配りをいただいた。話を聞いて感じたことは、山口市と济南市との交流の歴史である。青少年宮や外事弁公室の方々の多くは、これまでの交流で山口市を訪問したことがあり、日本や山口市に対して好印象をもっておられた。そして、山口市で受けた恩を返そうという意識で私たちを歓待してくださっているように感じられた。交流を長年積み重ねているからこそ、心の交流まで深まっていくのだと思った。

今回の交流で、児童生徒にとって一生残る大きな宝物を得ることができたと確信している。私自身も貴重な経験をし、見聞を広めることができた。山口市及び济南市の多くの関係者の皆様に厚くお礼申し上げる次第である。



# 団員訪問記

## ★芽生え

山口市国際交流課（通訳） 上土 夏希

「わ～！中国のにおい！」済南空港に降り立った瞬間、子どもたちから歓声があがりました。日本では嗅いだことのない独特的なスパイスの香りと、照り付ける太陽、日本と逆車線を猛走する多くの車に圧倒されながら、子どもたち7人全員が元気に中国に降り立ちました。

済南市に到着すると、早速子どもたちはホームステイへと向かいます。初日から飛行機の遅延に伴い、スーツケースが届かないトラブルに見舞われてしまい、ホストファミリーの家に向かう子どもたちの背中を少し不安な気持ちで見送りました。しかし、次の日には「こんなものを食べたよ」「すごくきれいな噴水ショーを見たよ！」などと、興奮気味に話してくれる子どもたちの様子から、ホストファミリーに温かく迎え入れてもらい、たくさんの思い出ができているのだと安心できました。

過去には音楽交流など様々なテーマの基で友好を深めて来ましたが、今回はダンス交流がテーマということで各々が短い練習期間で頑張って準備をしてくれました。練習の際は、緊張からか動きが小さく、表情が硬くなる場面がありましたが、本番ではどの子も大きく体を動かし、練習の成果が発揮された素晴らしい舞台でした。言葉が通じない中で自分なりに工夫してコミュニケーションを図ろうとしてきた経験が自信になったのかな。もしくは同年代の済南市の子どもたちが堂々と発表する姿に刺激をもらったのかな、など想像し、こども達の変化に驚きと感動をもらいました。発表を見学していた済南市の皆さんも盛大な拍手を送ってくださり、日本の伝統・文化を伝える非常に良い時間になったと思います。

子どもたちに思い出を聞いてみると、「ずっとおなかいっぱい！」と山東料理についての声があがりました。中国はゲストを食事でもてなします。食べきれないほどの食事がテーブルいっぱいに並べられ、「おいしい！おいしい！」と食べている子もいれば、慣れない香りや味に戸惑う子もいたようでした。それでも、食べたことのないものを一口だけでも食べてみる。日本にないものを知ろうと挑戦する姿は本当に素晴らしいかったです。

印象的だったのは、子どもたちから「ふつうはさ～」という言葉が少なくなり、「中国はこうなんだね」「日本とこんなところがちがったね」と話してくれたことでした。これまでの中国のイメージが変わり、多様性を受け入れる心が子どもたちの中でぐんぐん芽生えているのだと感じました。トイレは日本の様には整っていませんし、我先に猛進する車が右左関係なく行き交います。食べ物の中には手を出しにくい見た目をしたものもありました。しかし、異なる価値観を自然と受け入れられる柔軟性と国際感覚の習得の早さはさすが若い力だと驚きと喜びの連続でありました。

ホームステイや、食文化の違いに併せて厳しい暑さも加わり体調を崩す子が出ないかと心配していましたが、全員元気に5日間を過ごせました。特に、こどもたちがお互い声を掛け合い、やさしい心配りと自発的に助け合っている姿には本当に感動しました。知らない者同士だったこどもたちが、保護者の元から離れ、投げ出された異国の地で力を合わせ、笑わせ合い、とても良い仲間へと変わって行きました。今回、この7人で参加できたこともこどもたちにとって宝になったことでしょう。

帰国後、福岡空港のトイレを使用したこどもたちが、「ああ～日本のトイレ感動しちゃった！」と笑みをこぼしていました。また、ご家族の皆様と再会した際には疲れの中に安堵と喜びが爆発しているようでした。改めて自分の置かれた環境の素晴らしさと、家族の大切さが身にしみたことだと思います。

最後になりますが、山口市と済南市の姉妹都市交流がはじまってから今年で34年。これまでに育まれて来た友好の芽が大きく花開き、この事業に関わってきたすべての皆様のおかげで私たちが熱く歓迎してもらい、さらに友好を深めることができました。また、ご家族皆様のご協力の基、実現できましたことに心より御礼申し上げます。

子どもたちにとって、この5日間がいつまでも心のどこかで輝き続け、多様な文化・言語・人種・価値観をのびのびと受け入れる心を育み、果てしない可能性を秘めた未来を創造する力に変えてくれることを心から願っています。

---

## ★文化の違いに気付ける国際交流

山口市国際交流課 室長 河村 学

私ははじめて中国に訪問したのですが、様々な場面で日本との違いを体験しました。

まず、客に対する料理でのおもてなしについてです。中国では円卓で客人に料理をもてなします。円卓で客人をもてなすことで、一つの話題を共有しながら皆で食事を楽しめます。また、日本で言う「乾杯」とは異なり、中国では、「干杯」と表現するように主催者を中心に、歓迎の意を表したのち皆で杯を飲み干します。その「干杯」の場面以外には、勝手にお酒を口にすることはありません。食事の間、主催者側が代わる代わる謝辞や歓迎を述べ「干杯」を繰り返します。客人としては歓迎の気持ちがその都度伝わってきて、とても良い、しきたりだと感じました。

次に、交通事情についてです。日本と異なり右側通行であることは事前に確認していたのですが、いざ、济南市に降り立つと、右からも左からもおびただしいバイク・自転車と自動車が途切れなく走行していきます。建物の敷地から走行車線に進入する際は、日本のように車両が途切れのを待っていては、いつまでたっても目的地に向けて出発できません。道路状況に関係なく、もう車両を道路に進めていくのです。日本ではクラクションを鳴らされてしまう距離間においても進入ならぬ侵入するのです。こうした場面を目にすると、なぜ、日本人が世界の中において自己表現、自己主張することが苦手なのか分かる気がしました。

最後に、経済発展についてです。既に承知していることではありました、キャッシュレス化が進展していました。加えて、济南市内にある山東大学では、顔認証による本人確認を実施していました。また、ビルの建設が次から次に進み、走行するバイクや自転車の多くは電動で、特に自転車はペダルを漕ぐ人はあまりいません。自動で進んでいます。ただ、一方で、まだ上下水の整備などは進んでいないなど、発展途中であることも実感しました。

私ですら、このように日本と中国、山口市と济南市の違いに気がつきましたので、子どもたちは、もっと多くの違いに気付いたでしょう。

姉妹・友好都市との交流は、互いの文化、生活様式、習慣などの違いを知り、認め合う絶好の機会であり、今回の济南市訪問は、その意義の重要性にあらためて気付かされました。こうした市が主催するホームステイは、観光でその都市に訪れるのとは異なり、都市の歴史、日常生活の様子、そして何より人の温かさを感じができるかけがえのないものであると実感しました。これからも、山口の子どもたちに海外都市に訪れ、交流の素晴らしさを体感していただける交流事業を継続していきたいと思います。



# 大変お世話になりました！

■刘清兰团长



■冯思勇先生



■孙卫东先生



■石婧先生



■于培唯先生



■祝恒さん



■房倩倩さん（通訳）



■ダンスの先生  
石玮勇先生



■ダンスの先生  
毕萱林先生



■切り絵の先生  
罗亚杰先生



■乗馬とボルダリングの先生  
孫先生



## 編集後記

近年の济南市との友好都市交流は、ホームステイによる青少年の相互交流を中心に実施されています。小学生高学年から中学生までの青少年たちは、私たち大人が想像する以上に短期間で急成長してくれます。

第1回事前研修で初めて訪問団員が顔を合わせたときは、子どもたちには「中国へ行く」という漠然とした目的しかなかったように見えていました。

しかし、济南市の子どもたちが本市に訪れてきてからでしょうか、友情が芽生えたり、言葉の壁に苦労したり、良くも悪くも「国際交流」を体験するうちに、期待や不安など様々な心の変化とともに、海外へ行く自覚というか、覚悟が目覚めたように見え始めました。

ホストファミリーとの交流がいざ始まるとな、これまでの不安をよそに、子どもたちは、多くの歓迎を受ける中、不慣れな海外の料理に積極的にチャレンジする子、日々の思い出を一枚一枚写真に収める子、感謝の気持ちを中国語で手紙を書いた子など、相互交流の積み重ねがいつの間にか、自立性、積極性を育み、最後には孔子の思想である「仁(人間愛)」の境地に辿り着いてくれたのではないかでしょうか。

最後になりますが、この度の交流に御尽力いただきました全ての皆様に感謝を申し上げまして編集後記とさせていただきます。

## **令和元年度 山口市青少年交流訪問団訪問記**

**令和元年（2019年）12月**

---

**■編集・発行**

**山口市交流創造部 国際交流課**

**〒753-8650 山口市亀山町2番1号**

**TEL 083(934)2725**

**FAX 083(922)2198**

**■印刷 有限会社重政印刷**

